



【発信日】令和2年11月17日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階7、8番窓口）

産経建設部商工観光振興課 安達、澤田

電話 0779-66-1111 内線 1808

衛星電話（現地）090-8967-5974

黄金のヒロインが冬の眠りに入ります

～麻那姫湖青少年旅行村（春の里）の麻那姫像の雪囲い設置～

麻那姫湖青少年旅行村（春の里）の麻那姫像の雪囲い設置を下記のとおり行いますので、当日の取材をお願いいたします。

記

- 1 日 時 11月24日（火）午前8時30分 作業開始
※ただし、荒天の場合は延期することがあります。
- 2 場 所 麻那姫湖青少年旅行村（春の里）
- 3 内 容 麻那姫像の雪囲いを設置します。
今春は4月3日（金）に雪囲いを撤去しています。
- 4 そ の 他 麻那姫像の概要については別添資料をご覧ください。

麻那姫像の概要

1. 設置場所 大野市下若生子 26 字及び 27 字
2. 建設年月 平成 4 年 7 月
3. 事業主体 大野市
4. 事業費 像施工 23,090 千円
修景施工 13,878 千円
5. 目的 麻那姫は、その昔この地を襲った大干ばつから村人たちを救うため、自らを竜神に捧げようと真名川へ身を投じたと伝えられている、悲しくも心やさしい伝説のヒロインです。
「麻那姫湖」は、昭和 52 年 10 月、真名川ダム完成を機してこのヒロインにちなんで命名されました。以来、心の安らぎの場としても湖畔の整備が行われ、多くの人々に親しまれています。
麻那姫像は、素晴らしい伝説を後世に伝え、満々と清らかな水をたたえる湖の永遠のシンボルとして建立したものです。
そして、この麻那姫湖には、ダム建設によって離村を余儀なくされた 316 世帯のみなさんの思い出と愛郷心が秘められていることも忘れてはなりません。
6. 像の内容 本 体 青銅鑄物 黄金色仕立て（金箔 2 回押し）
高さ 3.5m 重さ 1,200kg
台 座 ミカゲ石 縦 1.6m 横 1.6m 高さ 2.53m
解 説 板 青銅鑄物 縦 0.7m 横 0.9m
解説板台座 ミカゲ石 縦 0.46m 横 0.99m
高さ 0.31~1.03m
敷地面積 1,224.61 m²